

実施報告書【課題実践校用】

学校番号	44
学校名	富山県立しらとり支援学校

学校の現状と課題	本校の児童生徒の多くは、体を動かすことを好むが、教師の支援がないと自ら好きな活動を選んだり、継続して取り組んだりすることは少なく、学校の授業以外での取り組みが広がりにくい。一昨年度より、専門家によるワークショップを重ね、その体験を授業に生かすことで、児童生徒が体を動かす楽しさを味わうことで運動意欲を喚起したり、卒業後の余暇活動につながる障害者スポーツへの関心を高めたりすることができた。今後は、さらに多様な体験を通して、児童生徒の興味関心を広げ、家庭と連携して余暇活動の充実につなげることが課題である。	
テーマ(特色)	レクリエーションや障害者スポーツに親しみ主体的に取り組む児童生徒の育成	
設定した「テーマ」の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 各学部、児童生徒の実態に応じて、専門家の指導を受ける授業内容を計画し、ダンスやミュージックケア、パラスポーツなどの講師を招きワークショップを実施した。 小学部では、昨年度同様、ダンスや体づくり運動の内容を他の授業に取り入れた。中学部では、毎年、講師によるダンス動画を2～3種類ずつ蓄積し、教員が共有し授業で活用することで、生徒は体づくりや余暇活動の時間に積極的に取り組むようになった。高等部では、パラスポーツの体験を重ねることで、生徒も教員も関心が高まり、体育以外に楽しむ機会を作るきっかけとなった。 今後は、それぞれのワークショップの成果を全校で共有し、家庭や放課後等デイサービスとの連携につなぐことが課題である。 	
実施内容(具体的に記入する)	<p>○前年度の要望をもとに、運動以外(美術、音楽、自立活動など)の内容も含めて内容を検討した。これまでの体験に積み重ね、より充実することを期待してダンスやスポーツの授業を設定し、講師を探した。</p> <p>○小学部は2回、中学部は6回、高等部は4回のワークショップを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学部1～3学年:体づくり運動、ミュージックケア 小学部4～6学年:ストレッチ、リズムダンス 中学部3グループ:ストレッチ、ダンス:各グループ、2回ずつ設定。 高等部A、Bグループ:フライングディスク3回実施 高等部Cグループ:ボッチャ <p>○ボッチャの用具を増やし、全学部で活用できるようにした。</p> <p>○ワークショップ後、授業で継続して取り組み、他に学級や学年の余暇活動として道具や動画を積極的に活用した。また、家庭の要望で動画を家で使えるようにしたり、障害者スポーツ大会への参加を勧めたりした。</p>	
取組による成果(プロジェクト学習推進の観点から)	<p>ワークショップを通して、小学部、中学部では、音楽に合わせて体を動かす楽しさや友だちと一緒に踊る楽しさを味わい、主体的に取り組もうとする姿が増えた。特に中学部では、教室での休憩時間や家での余暇時間に踊りたいと継続して取り組む生徒も見られた。高等部では、ボッチャやフライングディスクの技術向上を目指して繰り返し練習する生徒の様子が見られ、休み時間にも取り組みたいという声が聞かれた。</p> <p>今年度は、昨年度と同じ講師を招いてワークショップの回数を増やしたことで、講師の方が児童生徒の特性を理解して内容を工夫されたことにより、児童生徒の関心・意欲が高まり、主体的に取り組む姿につながったと思われる。</p> <p>今後は、余暇活動の充実の観点から、児童生徒が主体的に取り組める活動をさらに継続したり、運動以外の新しい活動に触れたりする学びの場を広げる取り組みを進めていきたい。</p>	
対象者(学年・人数など)	小学部1～3年生(59名) 小学部4、5、6年(55名) 中学部A1グループ(33名) A2グループ(26名) Bグループ(25名) 高等部Aグループ(33名) Bグループ(25名) Cグループ(15名)	
実施実績	4月	
	5月	各学部で講師の選定、日程調整
	6月	↓
	7月	
	8月	高等部実施
	9月	中学部実施 授業での取り組み継続
	10月	小学部実施 中学部実施 高等部実施 授業での取り組み継続
	11月	高等部実施
	12月	高等部実施
	1月	振り返りとまとめ
	2月	
	3月	